

魚の城下町

みんなが主役のまち

2017
NO.281

3

本を介して人がつながるまちづくり
～三代目新かもめ号お披露目～



あしたへつながる防災知識

第3弾

気温上昇に伴う融雪による災害に注意

冬も終わり、これからは、気温が上昇するにあたって雪解けが進む融雪期を迎えます。

2年前の平成27年は羅臼町で記録的な大雪となり、平成27年3月21日に相泊地区で土砂崩れ、同年4月26日に幌萌町で大規模な地すべりが発生しましたが、融雪期の気温の上昇により、急激に進んだ融雪も一つの原因と考えられ、この他にも数力所で土砂災害が発生しました。



平成27年4月26日発生
幌萌町大規模地すべり



平成27年3月21日発生
相泊地区土砂崩れ

融雪注意報の発表と発生条件

気温の上昇や降雨により融雪（雪解け水）が急速に進むことにより土砂災害等の災害が発生するおそれがあると予想されるときに、气象台より融雪注意報が発表されます。

羅臼町における発表基準は「24時間雨量と融雪量（相当水量）※の合計が60mm以上」となっています。

※融雪量（相当水量）とは、地面に積もった雪が解けて、雨として降ったと推定した量です。「融雪量30ミリ」とは、「30ミリの雨が降った」と同じこととなります。

積雪の多い場所で気温が上昇することにより融雪が進み、河川の水量が増大してはん濫の発生や浸水のおそれがあるときには、「洪水注意報」と合わせて発表されます。また、地すべりやがけ崩れなどの土砂災害が発生するおそれがあるときにも発表します。

融雪による災害は、気温が上昇する春（3月～5月）にかけて多くなり、特に雨が降った後に気温が上昇するときには注意が必要です。

また、気温の高い日が続くときには、雨量が少ない場合、または雨が降っていない場合でも土砂災害が発生することがあります。これから5月頃までは、「融雪」や「なだれ」による災害に注意してください。

融雪注意報が発表され、融雪が急激に進んでいると感じるときは、大雨の時と同様、斜面から濁った水が発生していないか、斜面に亀裂が発生していないかなど、十分な注意が必要です。

なお、気象庁では、冬期間のアメダスの積雪値を、札幌管区気象台のホームページで公開していますので、積雪の多さ（融雪災害の危険）をご利用ください。



札幌管区気象台
ホームページ
QRコード





安心、安全に暮らし続けるために 広がる応援ネットワーク

昨年の8月及び9月の大雨の影響による大規模な土砂災害（海岸町・昆布浜）により、町内では孤立した地区が発生しました。

この災害を機に町民皆様におかれましては、防災情報メールの登録や生活必需品の備えなど日頃から自分の命は自分で守る「自助」を心がけているところと思います。

同時に、昨年の災害の対応の教訓と致しまして、町民の生命・財産の保護活動に十分な対応ができないことも考えられるため、町では、民間企業や他団体と協定を結び、迅速かつ的確な災害対策を実施できる体制を構築するため、以下のとおり、災害時応援協定を締結しています。



応急生活物資（食糧・飲料水等調達）の協定締結

協定名称	協定締結先	締結年月日
災害時における応急生活物資の供給等に関する協定	株式会社DCMホームマック	平成28年12月8日
災害時における応急生活物資の供給等に関する協定	株式会社ホームマックニコット	平成28年12月8日
災害時における応急生活物資の供給等に関する協定	生活協同組合コープさっぽろ	平成28年12月28日
災害時における応急生活物資の供給等に関する協定	株式会社セコマ	平成29年2月9日
災害時における生活物資の調達等に関する協定	羅臼町商工会	平成29年3月1日

海上物資輸送及び海上移動手段確保の協定締結

協定名称	協定締結先	締結年月日
災害時における海上輸送体制の確保に関する協定	知床羅臼遊漁釣り部会	平成29年3月1日
災害時における海上輸送体制の確保に関する協定	羅臼漁業協同組合	平成29年3月1日
災害時等における緊急・救援輸送等に関する協定	知床羅臼観光船協議会	平成29年3月1日



羅臼町商工会



株セコマ



知床羅臼観光船協議会
知床羅臼遊漁釣り部会



羅臼漁業協同組合

今後においても、災害が発生した際は、町だけではなく、民間企業や他団体等と一体となり対応が行えるような防災体制の構築を平時より推進していきます。



知床羅臼町体験学習推進協議会 6年目の歩み

北海道外から563名の 中学生・高校生が来町しました

今年度、羅臼町の修学旅行受け入れは、北海道外の中学校・高校の5校で、生徒や教員等を合わせて563名となりました。

昨年度と比べ、受入れ人数が263名増加し、今年度来町した5校のうち2校はリピーターで、共に5回目の来町となりました。

また、今年度初めてSSH（スーパーサイエンスハイスクール）の受入も行い、特殊な研究を行っている生徒にも満足して頂くことが出来ました。

各校の主な体験プログラムは、北方領土学習としての「洋上視察」や「元島民の語り部」の他、「つみれ汁作り」や「昆布倉庫見学」などの産業体験が定着し、近年は「川釣り体験」や「ウニの殻割り体験」、「シカ革加工体験」、「地元中学生との交流」などの新たな体験メニューの開発も図っており、それぞれ好評を得ています。

また、「昆布加工体験」では、昆布の作業工程を映像で紹介し、さくらでんぶ作りでは、作ったさくらでんぶをお弁当のご飯を使って、てまり寿司を作って食べるなど、既存メニューにも工夫を取り入れながら実施してきました。来町していただいたほとんどが都市部の学校で、都会の生徒の目には、体験する一つひとつが新鮮に映ったことと思います。

しかし、さらなる誘客に繋げるためには、さらに新たなプログラムの開発と既存メニューの内容の向上が重要であり、これらも「知床羅臼」の特性を生かしたプログラム開発に注力していきたいと考えています。

新体験プログラム 「シカ革加工体験」

「シカ革加工体験」



毎年当協議会では、新たな体験プログラムを作り上げることに注力しており、これまでも多くのプログラムを開発してきています。今年は、新たな体験プログラムとして「シカ革加工体験」を実施しました。このプログラムは、羅臼町で有害駆除を行っているエゾシカの有効活用方法として、地域おこし協力隊の阪田裕子氏が考案されました。修学旅行生に知床におけるエゾシカの植生への被害や駆除の現状を理解してもらったうえで、ただ駆除するだけではなく、食肉や革製品に加工することで、地域に還元していこうというストーリーを持ったプログラムとなっています。

また、ギャラリーミグロードで実施することで、知床の歴史や自然などを視覚的に楽しみながら体験することが出来るものとなりました。

当プログラムは、一般町民の方も受講可能ですので、興味のある方はギャラリーミグロードまで足を運んでみてはいかがでしょうか。



真剣にシカ革加工に取り組む修学旅行生たち



実際に加工体験ができる「シカ革キーホルダー」（見本）

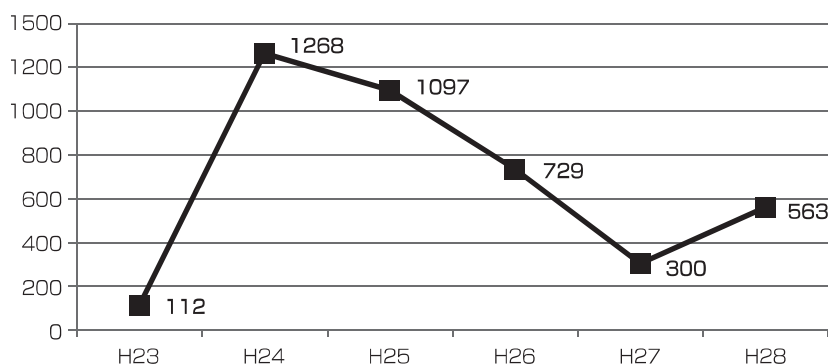
＝ 受入実績一覧 ＝

		平成28年度		平成27年度		平成26年度	
修学旅行	学校数	5校	道内中学校 0校 道外中学校 1校 道外高校 4校	5校	道内中学校 0校 道外中学校 2校 道外高校 3校	8校	道内中学校 0校 道外中学校 3校 道外高校 5校
	人数 (生徒・教員 等合計)	563名		300名		729名	
	うち宿泊	167名		188名		416名	
県民会議等 各種団体	県民会議 (学生団体)	10県民会議		9県民会議		12県民会議	
		193名		194名		231名	
	その他 (モニター ツアー等)	0団体		0団体		1団体	
		0名		0名		36名	
	うち宿泊	173名		165名		203名	



定番となった「つみれ汁作り体験」。浜のお母さんの指示に耳を傾けながら真剣に作業する修学旅行生たち。

修学旅行受入人数推移



※平成23年の6月と7月に道内中学校2校受け入れ。協議会設立は同年8月。



洋上研修にて、目の前に広がる大海原と北方領土。

やまぐち

平成25年度までは、2年続けて1000人以上の来町実績ができましたが、近年は減少傾向にあり、昨年度は300人にまで落ち込みました。今年度については、約9割増の563名が来町しましたが、課題である羅臼町の受入容量が少ないことや羅臼町への移動手段や距離の関係で旅費が高額となり、公立校の誘致が難しいということが解決されたわけではありません。

このことから、今年度は課題解決の方法として積極的な誘致活動を実施しており、中でも「小規模校」「私立校」「グループに分かれての行動可能な学校」にターゲットを絞った活動を推進してきました。関東圏、関西圏の他にも九州や中国地方にまで足を延ばし、様々な説明会への参加や旅行会社、学校に当町の魅力を売り込んできました。

その成果は既に見え始めており、誘致活動から数か月で、数件の旅行会社や学校が視察で来町し、実際に行える体験や見学施設などを目で見て感じてもらいながら説明をしているところです。

この活動が本格的に実を結ぶにはまだ数年かかりますが、根気よく続けていくことで確実な誘致に繋がるものと考えています。また、新たに体験プログラムを提供してみたいという個人・団体がいらっしやいましたら、お気軽に役場産業課までお問い合わせください。

平成29年度も、オール羅臼での取り組みにご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

【知床羅臼町体験学習推進協議会】 (平成23年8月29日設立)

幹事団体 羅臼町、羅臼漁業協同組合、羅臼町商工会、(一社)知床羅臼町観光協会
協力団体 羅臼町連合町内会、羅臼鮮魚買受人組合、羅臼町水産加工振興協会、羅臼町飲食業連合会、羅臼町旅館組合、知床羅臼観光船協議会、知床ガイド協議会(羅臼地区)、千島歯舞居住者連盟羅臼支部、郷土芸能知床いぶき樽保存会、羅臼町女性団体連絡協議会、羅臼漁業協同組合青年部、羅臼漁業協同組合女性部、羅臼町商工会青年部、羅臼町商工会女性部、知床らうす深層水利活用協議会、公益財団法人知床財団羅臼事業係
 (事務局/問合せ先：羅臼町役場 産業課 (Tel 87-2126))

むし歯のない子を発表します



36人中26人
むし歯がありません
でした。

*掲載にあたっては、3歳児健診時に確認させていただいております。

*平成28年度歯科表彰対象者は、平成25年1月23日生れ～平成26年1月18日生れで平成29年1月18日時点で、羅臼町にお住いの方です。ただし、歯科健診を受けていない方は対象となっております。

住所	対象者氏名	お子さんの歯みがきを頑張った方	住所	対象者氏名	お子さんの歯みがきを頑張った方
峯浜町	アマガタ ヲウカ 天方 佑香ちゃん	博章	知昭町	オオタキ リョウタ 大滝 亮太くん	幸恵
	ナカヤ トモカ 中谷 友香ちゃん	嘉記		スズキ コウスケ 鈴木 煌介くん	快
	ニシカワ サクラ 西川 桜愛ちゃん	祥、祥子		ヒライ シオ 平井 志緒ちゃん	健太
春日町	コバヤシユ ナノ 小林佑菜乃ちゃん	恵利奈		ヒラカワ アヤネ 平川 綾音ちゃん	典子
	サカモト 坂本ひまりちゃん	めぐみ		クロサワ アン 黒澤 杏ちゃん	徹
	フジノ 藤野せいらちゃん	茂樹、由美子		サイトウ メイ 齊藤 芽依ちゃん	麻綾
麻布町	イノウエ リア 井上 莉愛ちゃん	義将、亜矢	礼文町	コンノ ハヤト 今野 颯人くん	雅規
	オオノ アズミ 大野 愛純ちゃん	桃世		トビサワ ハルミチ 飛澤 陽道くん	陽介、舞
	カワカミ ユイ 川上 優衣ちゃん	南美		ミヤモリ エイト 宮森 瑛叶くん	工英
	スガワラ リミ 菅原 莉美ちゃん	良介、扇都	緑 町	マツダ ショウスケ 松田 萩亮くん	彰弥、奈穂
	ヨシダ ユウサク 吉田 夕朔くん	盛一	栄 町	テラオカ ハナ 寺岡 華くん	麻理恵
八木浜町	タカノ トモキ 高野 知希くん	豊土、美佳	船見町	サトウ ハナ 佐藤 華ちゃん	貴行、芽久美
				ムカイグチ ショウタ 向口 昇汰くん	尚輝、典子
			海岸町	キクチ ハルナ 菊池 春菜ちゃん	卓也

こんにちは。役場の歯科衛生士です。
平成28年度に行われた3歳児歯科健診で、
左記のお子さんにむし歯がありませんでした。
お子さんの歯のお手入れを頑張った方のお
名前も合わせて表彰させていただきます。

歯磨きだけでむし歯は防げません。

周りの人は、子どもにお菓子やジュースをあげないようにしましょう。



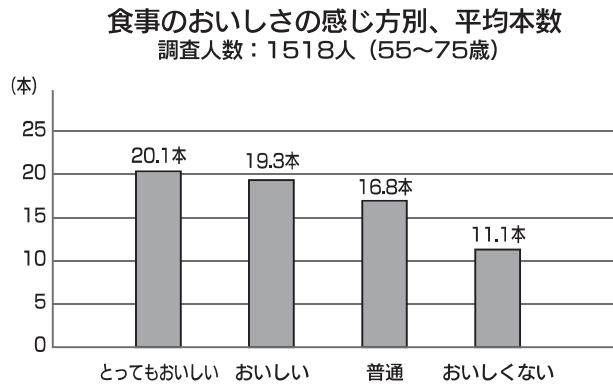
これからも歯磨きを頑張りましょう。

1人で磨いていても、きちんと汚れを落とせている訳ではありません。仕上げ磨きは、小学校低学年までは続けるようお願いします。

8020運動を知っていますか？

「80歳になっても20本以上自分の歯を保とう」という運動です。大人の歯は、親知らずを除くと全部で28本あります。そのうち20本以上あると、食生活にはほぼ満足することが出来ると言われています。

食事が「とてもおいしい・おいしい」と感じている人は、平均で約20本の歯がある



歯を失う2つの病気

歯の病気とえば「むし歯」と「歯周病（歯槽膿漏）」ですが、どちらも歯を失う原因です。

どちらも口の中の菌によって起こる病気ですが、日本人の40歳以上の8割が歯周病と言われています。

歯周病菌は「サイレントキラー」と呼ばれ、知らないうちに病気が進行して、気が付いた時には手遅れということがあります。40代あたりで急に歯周病になるのではなく、10代や20代であまり自覚がないくらい歯ぐきの腫れが、40代には歯を支えている骨が溶けてしまうまで進行してしまうのです。

<歯を失ってしまう原因>



資料：「8020推進財団」

歯を失わないために

①しっかりと歯磨きをする

歯と歯ぐきの境目を狙ってじっくり磨きます。1日のうち1回は10分程度磨く時間を作りましょう。

②フロス（糸ようじ）や歯間ブラシを使う

歯と歯の間は、歯ブラシだけでは磨ききれません。是非使ってみてください。

③定期的に健診を受ける

裏側や奥の方は見えにくいので、年に1、2回は歯科医院でチェックとクリーニングを受けましょう。

④甘い物は、回数と量を決めて

砂糖はむし歯だけではなく、歯周病にも関係があります。だらだら食はキケンです。

⑤たばこをやめる

たばこはヤニがつくだけではなく、歯周病になりやすく、悪化させやすいためです。

痛くない！大丈夫、ではありません。これからも自分の歯で食べられるよう取り組んでいきましょう。

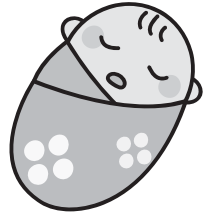


人口の動きから見る健康づくりについて

この冬は雪が少なくて良かったですね。

さて、今回は昨年1年間の町の人口の動きについてお知らせします。(保健福祉課把握分)

昨年12月末の人口は5,320人でした。平成27年末人口は5,441人でしたので、1年間で121人減少しました。昨年1年間で生まれた赤ちゃんは27人で、平成27年は32人だったので5人減りました。亡くなった方は70人で平成27年は61人だったので、9人増えました。生まれる数が減り、亡くなる数が多い状況が続いています。



亡くなった方の病気で最も多かったのは「急性心筋梗塞」の9名でした。生活習慣に気を付けていれば防ぐことができる病気だと思います。65歳以上の人口は1,462人で平成27年より22人増え、高齢化率は27.5%で1%増えました。羅臼町も人口減少と加速度的に少子高齢化が進んでいます。

羅臼町での生活を快適に維持するためには、どうしたらよいでしょう。私たちは、町民の皆さんが健康でいることが一番だと考えます。健康で生活し、ちょっと困っている方がいれば、そのお手伝いをそれぞれがしてもらえれば社会ができればいいと考えています。健康を維持するために、健康になるため、病気があっても今より悪くしないようにするにはどうすれば良いか、役場の保健師、栄養士、歯科衛生士等が相談に乗りますので、是非ご活用ください。



お問合せは
役場保健福祉課87-2161 まで

子育て情報ひろば ~すくすく~

★言葉不足がかわり方★

前号に続いて遊びや生活の中で、言葉の力を伸ばす方法をお知らせします。参考にしてみてくださいね。

パラレルトーク…子どもの行動や気持ちをかわりに言葉に表す。

持ちをかわりに言葉に表す。

ベビーカーに子どもを乗せて歩いていたら、ガタンとなりました。子どもはちよっとびっくりしたように体を固くします。「うわっ、ガタンした、びっくりしたね」と子どもの気持ちを言葉に出して言ってあげると、すぐに安心します。安心できることはとても大事なことです。

セルフ・トーク…大人が自分の行動や気持ちを口に出して言う。

「ご飯を食べ終わって「ああ美味しかった」お風呂に入って「ああ気持ちいい」おもちゃを無くして「あれ?どこにしまったかな?」など自分の気持ちや行動を声に出し、言葉にして伝えます。

★「あーんこ」イベント★

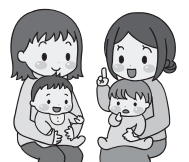
主な内容は『ありんこ』でおこなう行事のお手伝いや保健事業での託児です。宜しくお願ひします。

♪4月・5月のありんこ情報♪

☆ありんこ広場 (0歳~3歳対象) ☆すくすく広場 (1歳未満対象・妊婦さんの見学可) ☆のびのび広場 (2歳~3歳対象)

4月 3日 開放開始	4月 6日 健康ヨーガ教室	4月 7日 すくすく広場
4月10日 ママの日♪	4月20日 健康ヨーガ教室	4月28日 のびのび広場
5月 1日 ママの日♪	5月11日 健康ヨーガ教室	5月19日 すくすく広場
5月22日 計測	5月25日 健康ヨーガ教室	5月26日 のびのび広場

*お問合せ先：羅臼町子育て支援センター『ありんこ』Tel88-1515



二重課題ってご存じ?

～みんなで育む・みんなの診療所～

運動と認知機能

高齢者が多い羅臼ですが、最近なにかと認知症が話題になりますよね?高齢者の運転による事故も数多く報道され、免許の更新などもどんどん条件が厳しくなっていくでしょう。

実は認知症予防に効果があるとされている運動がいくつかあるのはご存じですか?今日はその中でも、二重課題(デュアルタスク)と呼ばれるものをご紹介します。



二重課題(デュアルタスク)とは

皆さん、普段の生活の中で“歩く”場面を思い浮かべてください。買い物に行くために、散歩のために歩いたり、冷蔵庫にお茶を取りに行くために歩いたり、歩くために歩く人はいませんよね?

要するに、日常生活はAをしながらBをする、常に複数の課題を私たちはこなしています。これが二重課題の仕組みです。もちろん、さらに複雑なAをしながらBをして、Cもする複数課題(マルチタスク)をこなしている場面があるかと思います。

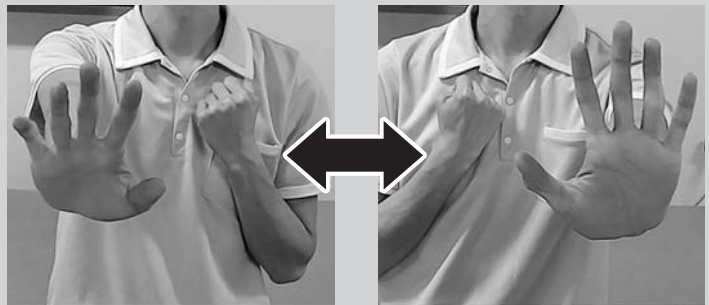
実は、認知機能が低下するとこの二重課題をこなす能力が低下すると言われて

います。逆にそれを逆手に取り、この課題と運動を組み合わせることで脳細胞を活性化し、認知症予防をすることができるのです!いくつか紹介するので、友人や家族とぜひ取り組んでみて下さい。

知床らうす通所リハビリセンターでは、脳梗塞、整形外科疾患、循環器疾患、内科疾患のみならず、認知症に対するリハビリも行っています。

ぜひ一度見学に来てみて下さい!

①交互にグーパー



片方の手を前に突き出しパー、もう片方の手を手前に引きグーにします。その手をリズムカルに入れ替えます。最初はゆっくり、慣れてきたら早く動かします。

②両手じゃんけん

勝つのは必ず右手!



1人で、必ず右手が勝つように両手でグー・チョキ・パーを出してみましょう。難しい人は、先に左手でグー・チョキ・パーを出し、そのあとに必ず勝つように右手でグー・チョキ・パーを出しましょう。

～予約・お問い合わせ～ 知床らうす国保診療所 TEL87-2116

総合型地域スポーツクラブ

NPO法人羅臼スポーツクラブらiguez

創立10周年を迎えます！

町民の、町民による、町民のためのクラブ

総合型地域スポーツクラブとは？

平成12年、文部科学省が告示した「スポーツ振興基本計画」の内容でとりわけ大きく掲げられていたものの中に「総合型地域スポーツクラブ」の育成がありました。これは、国民の誰もが、それぞれの体力や年齢・技術・興味・目的に応じて、いつでもどこでもいつまでもスポーツに親しむことができる社会を実現するための政策です。欧州のスポーツクラブでは昔から主流の形態であり、中にはサッカー等のトップリーグのチームも総合型クラブが下地になっているところもあります。

生涯学習スポーツ社会の実現に向けた地域におけるスポーツ環境の整備充実を目的とし、スポーツのみならず、文化活動や社会活動を取り入れることも自由で、それぞれの地域や団体・組織、設立する目的に応じた多種多様なクラブの形態があります。

試行錯誤の数年間、健康を勝ち取る

文部科学省の委託を受け、平成18年度から体育指導員や体育協会、学校関係者等の有識者を中心に設立準備委員会が立ち上がりました。当時はまだ「らiguez」という名も無いばかりか、このクラブで一体何をすれば良いのか、既存のスポーツ団体との違いは何か、羅臼にとって何故総合型クラブが必要なのかという根本の議論がスタートしました。

現在も継続されている「水中運動教室」や「パークゴルフ交流会」もこの頃から始まったものです。「健

康を勝ち取る」をキーワードに、町民が求めるスポーツや誰もが楽しみ続けられる運動は何かを、ニーズを調査し、トレンドを導入するなど皆で協議し、追求めました。

「らiguez」の産声

有識者が集まる設立準備委員会から、より実動的役割を持つ機能として運営委員を公募し、平成19年より「運営委員会」が組織されました。当時は会議だけで月6〜7回も開催され、イベント事業は隔週で実施、例会として毎週土曜日に町民体育館アリーナを貸しきり、バドミントンやミニテニス等を実施する「定期活動」も実施されました。「らiguez」の名称が決まったのもこの年です。



「活動理念」を練る運営委員



健康ヨーガ教室



定期活動
(通称：ミニパドラーの様子)



「らiguez」の由来

サンライズ=朝日(あさひ)

昇る朝日のように、知床羅臼からスポーツを通してまちづくりが始まり、町全体を盛り上げていこうとする願いが込められている。

NPO法人羅臼スポーツクラブらいず（以下、らいず）は総合型地域スポーツクラブの創設・育成制度に基づき、多くの町民・団体の賛同を得ながら、平成18年度からの準備期間を経て、平成20年度に設立され、今年の3月1日を持って10年目を迎えました。現在は、羅臼町民体育館を指定管理者制度に基づく管理運営を受託しながら、地域に根差したスポーツ団体として活動の幅を広げています。

所在：目梨郡羅臼町栄町102番地 羅臼町民体育館 Tel.0153-87-2408

HP：<http://rausu-rise.com/>

会員：ジュニア会員94人、アダルト会員80人、シルバー会員27人、特別会員3人



スポーツを通じた、 人づくり・仲間づくり・地域づくり、つなげる思い…



フラワーアレンジメント教室



会員限定 パークゴルフ交流会

羅臼にとって必要なクラブを目指して

現在「らいず」は、クラブマネージャーやアシスタントマネージャーを始めとする5名の職員（体育館常駐）と27名の町民有志の運営委員会を組織して活動しています。（平成29年2月28日現在）

「らいず」は、次の3点を基本骨子にしています。

①ライフサイクルに合わせ、子どもから高齢者まで全ての町民が心身ともに健康な生活が送れるよう活動の場を提供する。②会員・運営委員・協賛店としてクラブに関る町民を増やし、仲間づくりをする。③様々な団体と連携を図り活動の場を広げ、「羅臼にとってなくてはならない」クラブになる。

一人でも多くの町民に様々なスポーツに触れる機会を提供しながら、羅臼のフィールドや施設を有効的に活用した多様なイベント事業を通して、地域密着型のクラブとして日々まい進されています。

地域課題に目を凝らし

子どもの体力・運動能力低下の課題に着目し、多様な動きを通して脳と体に刺激を与え、運動学習能力を高める「コオーティネイショントレーニング（COT）」を実施しています。

平成25年度からは、町教育委員会が委託し、全幼稚園・小学校における教育課程で実施しており、羅臼の子ども達の体力・運動能力の向上に寄与しています。また、高齢者向けの介護・認知症予防教室や脳トレーニングに繋がる運動法を導入した老人クラブ出前教室も実施する等、子どもから高齢者まで多世代に対応した課題と向き合った取り組みをしています。



児童・園児の体づくり・運動能力向上事業（学校COT）



介護予防事業「ぴんぴんキラリ！いきいき健康教室」

「らいず」は、「町民の、町民による、町民のためのスポーツクラブです。この思いは今も昔も変わりません。そして、この思いをつなげてきたのは、これまで町のために尽力されてきた運営委員をはじめ、らいず職員、そして「らいず」を支えてきた町民皆様によりません。

10年の節目を迎える「らいず」は、これからも地域にとって必要なクラブとして活動していくことでしよう。スポーツを通して築く笑顔の町民と、明るいまちの未来を想像し、これからの「らいず」の更なる活躍に期待いたします。



城下町のわだい

みんなごまちづくり

町では協働のまちづくりを推進しています。

ここでは、町民や団体が自らの意思で「協働のまちづくり」を実践している方々を中心に取り上げ掲載していきたいと考えています。みなさんも「協働のまちづくり」にご参加下さい！

平成29年1月8日(日)

羅臼町サッカー少年団創立10周年

羅臼町サッカー少年団では、設立して10年を迎えたことを記念し、公民館・体育館にて記念大会・記念祝賀会が開催されました。

祝賀会には、歴代父母会や現団員・卒団員など120名が集まり、10年の節目をお祝いしました。午前10時の節目では、年代別で構成されたチームでミニゲームが実施され、団員VS指導者や現団員VS卒団員等のタイトルも実現し盛り上がりを見せました。午後の記念祝賀会では、各家庭で不用になったボールやスパイクシューズ等のサッカー用品を、一昨年大震災に見舞われたネパールへ寄付をする贈呈式も行われました。羅臼町サッカー少年団の皆さん、この度はおめでとうございました。



平成29年1月15日(日)

海の幸で料理グランプリ

今年で9回目を数える、らうす海の幸コンテストが羅臼漁業協同組合を会場に開催されました。今年のテーマは、「タラを使った料理」。参加者11名から30品の応募があり、審査員10名により、料理の味やアイディア、商品化をキーワードに採点されました。出品された料理は、味はもちろん、個性的なアイディアが詰まったものや工夫をこらしたオリジナルなものまで参加者全員の腕が輝いた一日となりました。

金賞には、石田ひろみさん作「タラのシウマイ」桜でんぶ添え、釣久美子さん作「タラと昆布の揚げ巻き煮」が見事選ばれました。おめでとうございます。参加者の人数は年々減少傾向にある本コンテストですが、来年は、10回目を記念します。料理上手な奥様や料理男子の皆さん、ぜひ来年はコンテストに参加し、その腕前を披露してみたいかがでしょうか。



平成29年1月19日(木)

地域を見守る輪

羅臼町地域見守り活動に関する協定を釧路地方道新会二十会と締結し、調印式が行われました。

本協定は、地域福祉の向上を図ることを目的とし、町内の北海道新聞配達世帯数1049世帯を対象に、配達業務において訪問先で異変等を発見した場合は、羅臼町又は消防や警察等へ連絡する体制を構築するものです。

このような応援体制が広がることで、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるようになります。



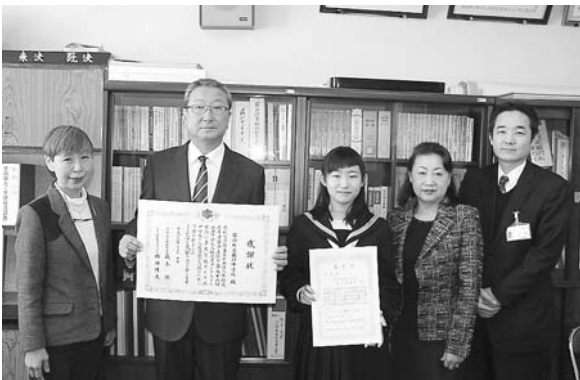
平成29年1月25日(水)

人権作文コンテスト

第36回全国中学生人権作文コンテスト東北北海道大会において、羅臼中学校2年生小川真優佳さんが「いじめについて」と題した作品で奨励賞を受賞されました。

小川真優佳さんは、「自分の思いを綴った作文が賞に入り嬉しさを感じる。今後自分の意見をしっかりと伝える大人になりたい。」と強い思いを語ってくれました。

また、多年にわたって人権作文に取り組み続けている、羅臼中学校に対して感謝状が贈られました。おめでとございます。



平成29年2月1日(水)

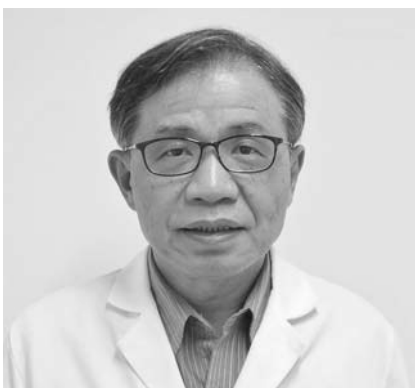
医師二人体制へ

知床らうす国民健康保険診療所に平成29年2月1日付けで黄士哲医師が着任されました。

黄士哲医師は、台湾出身で現在、留萌管内初山別村にある村立診療所に勤務しており、知床らうす国保診療所と行き来しながら診療にあたります。

羅臼町には、ご友人の紹介で着任時初めて来町されたとのことで、豊かな自然に魅力を感じていると町の印象を語ってくれました。

黄士哲医師これから宜しくお願います。



平成29年2月7日(火)

ふるさとへ向けたそれぞれの想い

今年で72年の歳月が経ちいまなお、返還されていない北方領土。今年も北方領土の日に羅臼国後展望塔において、羅臼涛吟会による北方領土への想いを込めた詩吟披露や北方領土返還を願ったシユプレヒコールが参加者全員で行われました。

また、同日に根室市で開催された根室管内住民大会では、羅臼町から27名が参加され、北方領土問題の早期解決に向け、熱い想いを届けてきました。同大会では、根室管内中学生の弁論発表も行われ、羅臼中学校2年生の太田未有さんによる「北方領土について」が佳良賞を受賞、春松中学校3年生の四ツ屋聖さんによる「日本のふるさと」が北隣協会長賞を受賞されました。聞き手に語りかけるように、自分たちの言葉でそれぞれの想い、考えを立派に発表されていたのが印象的でした。



羅臼涛吟会による詩吟披露



羅臼中学校 太田 未有さん



春松中学校 四ツ屋 聖さん

平成29年2月8日(水)・9日(木)

走る図書館

三代目かもめ号の誕生

三代目かもめ号の巡回が2月から開始しました。羅臼小学校、春松小学校では、お披露目式が開催され、生徒のみならず、幼稚園児や一般の方、かもめ号のデザインを手掛けた後藤真希子さんも駆けつけ、一緒にお祝いしました。

実際に出来上がったかもめ号に触れた子どもたちは、描かれているイラストを指し「クマがいる。キツネもいる。」と興奮した様子で、それを間近で見ている後藤真希子さんからは、「作り上げたものに対しての反応をこんな近くで、直接感じる事が出来たのは今回が初めてで感動している。」と今回の取り組みが自分自身の財産になったこと、夢のある仕事が出来たと笑顔で語ってくれました。

かもめ号は子どもから大人までどなたでも利用することができます。巡回している図書館バスで町が明るくなり、たくさんの方が利用することで賑わうそんな三代目となるように町民皆さんで末永く大事に利用していきたいです。



平成29年2月12日(日)

第15回らうすオジロまつり

今年も晴天の中、羅臼小学校グラウンド特設会場で羅臼町商工会青年部主催のもと第15回らうすオジロまつりが開催されました。会場内には大雪像を始め巨大迷路を設置し、子どもたちや家族連れの方々が楽しんでいました。催し物では宝探しを始め、小学生低学年による雪合戦が行われ、たくさんの方々の声援のもと張り切っていました。最後にはビンゴ大会があり、特賞をめざし、会場で喜びの声や、残念がる声が上がリ、最後まで楽しい一日でした。



平成29年3月1日(水)

三年間の思いを胸に

第42回羅臼高校卒業証書授与式が行われました。祝辞では、卒業生20名に向けて多くの激励の言葉が述べられ、式の最後を締めくくる式歌斉唱では、卒業生は在校生に、在校生は卒業生に向けて互いに背中を押すような、エールを贈るようなそんな歌声が会場内に響いていました。

これからそれぞれの場所へ活躍される20名の皆さんの姿を楽しみにしています。卒業生の皆さんご卒業おめでとうございます。



平成29年3月8日(水)・9日(木)

平成28年度羅臼町児童・生徒表彰受賞

去る2月15日の教育委員会にて、各団体から推薦があった中学生13名の受賞が決定致しました。表彰式は羅臼中学校、春松中学校でそれぞれ行われました。

受賞者には、山崎教育長から記念の盾が贈られました。受賞者は、次のとおり。

- 【奉仕賞】山下 卓徒くん(羅中二年)
- 【明朗賞】高原 将也くん(羅中三年)
- 【学芸賞】小林 岳飛くん(羅中三年)
- 中陳 愛晴さん(春中三年)
- 【友情賞】尾田 悠真くん(羅中三年)
- 【体育賞】石崎 棕さん(羅中三年)
- 川村 臣矢くん(春中三年)
- 川上 畝央くん(春中三年)
- 森 大地くん(春中三年)
- 【リーダー賞】魚津 俊太くん(春中三年)
- 遠山 葵紗来さん(羅中三年)
- 大友 ひかりさん(羅中三年)
- 小林 飛友くん(羅中二年)



春松中学校



羅臼中学校

情

RAIBU TOWN

報

ひろば
INFORMATION



平成29年度第1回北海道警察官採用試験の受験者募集

○受付期間

3月1日(水)～4月21日(金)

※電子申請による場合は4月21日(金)の午後5時30分まで

○試験日

5月14日(日) ※中標津警察署で受験可能です

○採用予定人員

男性A区分：145名程度

女性A区分：50名程度

男性B区分：45名程度

女性B区分：10名程度

○募集区分

・男性・女性A区分：大学(短期大学を除く。)等を卒業した方(平成30年3月卒業見込みの方を含む。)

・男性・女性B区分：A区分以外の方

○募集年齢

A・B区分とも昭和60年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた方(平成30年4月1日で18歳以上33歳未満)

○問合せ・願書配布先

中標津警察署警務課 (TEL 0153-72-0110)

○願書受付先

中標津警察署

北海道警察本部採用センター(郵送可)

北海道からのお知らせ

○北海道漁港管理条例の規制改正により漁港内での遊泳が禁止になります。

漁港の区域内には、遊泳(潜水を含む)を規制する『遊泳禁止区域』が指定されております。

平成29年4月1日から遊泳禁止区域内での遊泳は禁止です。(同条例第6条)

違反をした者は、5万円以下の罰金が科せられることがあります。(同条例第20条)

詳しくは、漁港内に設置の規制看板をご覧ください。

次に掲げる場合については、禁止対象から除外されます。

・漁業者が漁業を営むために遊泳をする場合

・漁業従事者が漁業に従事するために遊泳をする場合

合

・漁業協同組合が当該組合の定款に定める事業の遂行のために遊泳をする場合

・漁港漁場整備法第39条第1項又は同条例第13条第1項の許可に基づき、遊泳をする場合

・国、道若しくは市町村又は独立行政法人若しくは道が設立した地方独立行政法人が、あらかじめ知事に届け出て、遊泳をする場合

・知事が特に必要があると認めて許可した場合

【お問合せ先】

根室振興局産業振興部水産課

TEL 0153-23-6852 (直通)

TAXコラム

(税務財政課通信)

「国保税の納税は、お済みですか？」

2月28日で国保税の最終納期が過ぎました。

まだ、納税していない方は、遅れた日数時応じて延滞金が加算される場合がありますので、早急に納税するようにお願いします。

「釧路・根室広域地方税滞納整理機構への移管について」

町税を滞納している方のうち、納税折衝に応じない方、納税誓約が履行されていない方について、現在「釧路・根室広域地方税滞納整理機構」に徴収を移管する準備をしております。

町税を滞納している方は、早急に納税するようにお願いします。

また、町独自でも、預貯金、給与、生命保険等の差押えを執行し、収入の確保を図っております。やむを得ない事情により収めることが困難な方は、早急に納税相談をしてください。

【3月の休日・夜間窓口】

〈休日窓口〉 3月26日(日) 午前9時～午後5時まで

〈夜間窓口〉 3月31日(金) 午後8時まで

〈お問合せ先〉 役場税務財政課 TEL87-2113

地域と共にありむ

皆様、羅臼町更生保護女性会という団体をご存知でしょうか。

平成10年に会員20名にて発足し、現在、会員数29名と賛助会員5名で活動されているボランティア団体です。具体的な活動としては、町内の幼稚園児との交流事業や羅臼町総合文化祭(子ども祭り)への参加、社協行事への協力等、地域の方々と連携しながら様々な活動を行い、子どもたちの健やかな成長を見守っております。

今年5月には、釧路管内の会員の方々が集う「釧路地区更生保護女性会員研修会」が羅臼町で開催され、羅臼町が開催地となるのは今回が初めてとなります。講演内容やそのほかのメニューでも釧路管内会員の皆様に「羅臼町」を深く知ってもらうことを目的として当日に向け準備が進められています。

これからも地域と連携しながら、さらなる活発的な動きを進めていきたいという思いから、羅臼町更生保護女性会は若い世代に加入してもらい会員増加につなげたいと願っています。少しでも興味のある方はまずお話を聞いてみてはいかがでしょうか。

《お問合せ先》

羅臼町更生保護女性会

会長 小野寺千鶴枝

(07-22606)

大会事務局 松原 尚子

(08-33001)

寄付・寄贈 ありがとうございました

【羅臼町体育文化振興基金】

陶芸サークル織部

代表 田中 裕子 様

代表 五十嵐 環 様

【文教施設整備基金】

萬屋 志都子 様

(平成29年1月11日)

(平成29年3月10日受付分掲載)



おくやみ申し上げます



赤ちゃん誕生



(敬称略)

羅臼いさり火吟社

2月例会句

平成29年2月

チエンバ口の音色にも似て冬銀河 悠 羅

辺境の開拓惚び氷割る 鹿 山

みくじ受く母娘に香る赤き梅 英 美

探梅や夫婦会話の果てるまで 泥 舟

肩に雪のせて修行女経を誦む 羅 牛

俳句同好会「羅臼いさり火吟社」では投句を募集致します。住所・氏名・年齢・電話番号を明記し送付していただくか、下記までお問い合わせ下さい。

〒086-11823 羅臼町栄町

羅臼いさり火吟社

宮 腰 實

(電話)0153-87-3758

人の動き

平成29年2月末現在 ()内は平成29年1月末対比

人口 5,294人 (-18) 男 2,616人 (-14)
世帯 2,106世帯 (-6) 女 2,678人 (-4)

編集後記

2017年も早いもので既に3ヶ月が経過しようとしています。

今月の取材は、羅臼高校の卒業式にお邪魔してきました。卒業生20名の皆さんは、立派に卒業証書を授与され、卒業生答辞では、「羅臼高校の生徒で良かった、先生の生徒で良かった」と素直な気持ちで述べられ、実際に高校生活を覗いたわけではありませんが、寄り添ってくれる担任の先生の姿だったり、クラス一丸となって取り組んだ行事だったりと思いを感じることができました。これから新しい道に進む卒業生の皆さんですが、それぞれのこれからの活躍に期待しています。(A)

羅臼町民憲章

(昭和45年9月15日制定公示)

わたくしたちは、雄大な知床連峰と、オホーツク海原の大自然にはぐくまれた、羅臼の町民です。

- 自然を愛し先人の強い意志ををうけつぎます。
- 健康で明るくたのしい家庭をつくります。
- 教養を高め、豊かな情操を育てます。
- 仕事に誇りをもち、はたらく喜びに生きます。
- 子どもたちの夢と、若い力を育てます。



世界自然遺産のまち・知床羅臼町

■広報らうす平成29年3月号

編集／羅臼町 企画振興課 企画振興係
〒086-1892 目梨郡羅臼町栄町100番地83
☎0153-87-2114
<http://www.rausu-town.jp/>